

設計製図Ⅰ

担当教員： 後藤 亜貴

履修年次・区分： 2・3年（自由一建築士）【二級・木造建築士】選択

授業のテーマ： ・名作住宅と呼ばれる日本を代表する建築家の作品のトレースを通して、作図法の習得をするとともに、作者の意図、プランを理解し、意匠の美しさを学ぶ。

・戸建て小住宅の設計を通して、計画力を身に付け、図面や模型による表現を行い、説得力のあるプレゼンテーションに結実させるまでの演習を行う。

この日の授業内容： 完成作品のプレゼンテーションと講評



課題は「住宅」です。子どもがいる家庭、延べ床面積約130㎡、敷地には駐車場を設けること、近くに公園や海がある立地を活かすこと、という条件のもとで学生たちは、3世代同居の家、中庭のある家、光が入る家、帰りたくなる家、など思い思いの住宅を設計して図面や模型を作り、この日のプレゼンテーションに臨みました。



他の建築士科目担当の先生方も集まって下さり、「美しいものを作るには足し算や掛け算でなく、引き算で際立ちを考えることが大切だ」「コンセプトをもっと明確に」など、専門家の視点からの講評を頂きました。

(2015年8月取材)